

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 新居浜市立高津小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒792-0866
愛媛県新居浜市宇高町 2 丁目 13 番 7 号

E-mail : tkte-ad@esnet.ed.jp

Website : http://takatsu-e.esnet.ed.jp/cms/

児童生徒数：男子 353 名 女子 354 名 合計 707 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (ふるさと学習)

3. 活動内容

(1) テーマ (主題)

ふるさと発見 つなげよう未来へ

(2) 主な活動内容について

～ 生活科を通して ～

(ねらい) 「たんけん」という体験を通して、人や自然とのふれあいを深め、高津校区のみんなとなかよく生活していこうとする態度を養う。

【1年 「大好き 高津小学校」】

(活動の実際) 学校たんけんをしよう

4月、校内のさまざまな人とできるだけ自然に形で出会い、みんなが気持ちよく生活するためのルールやマナーを学んだ。その後、2年生に校内を案内してもらい、出会った人へのあいさつを通して、ふれあいを深めていった。この体験を生かし、1年生だけの学校たんけんへと少しずつ世界を広げていくことができた。5月、6月と「たんけん」を重ねるごとに、新たな気付きやもっと調べたいというめあてをもつことができ、活動が深まった。



(学校たんけんの様子)



(町たんけんの様子)

【2年 「大好き 高津」】

(活動の実際) わくわく町たんけん

自分の家の近くの秘密を見つけ、紹介した後、行きたいところを決め、グループで探検の計画を立てた。グループ探検では、質問をすることによってお店の人と話したり、自動車に乗る体験をしたりして地域の方と交流を図った。保護者の付き添いボランティアに多くの協力が得られたおかげで、たくさんの施設に行くことができた。その後、探検の様子や気付きをグループごとに壁新聞にまとめ、発表し合った。校区のよさの発見につながった。

～ 総合的な学習の時間を通して ～

(ねらい) 地域のよさや身近な問題(福祉・環境・平和)に関心をもち、自分たちの生活とのかかわりを調べ、自分たちにできることを発信したり、地域のために活動しようとする態度を養う。



(校区探検の様子)

【3年 「わくわく 高津発見」】

(活動の実際) 新居浜市のじまんを見つけよう

校区探検で神社やお寺、史跡を巡ったり、地域の方に昔の話をしていただいたりしたことによって、自分たちが住む地域について関心をもち、ふるさとのことを調べてみたいという意欲が高まった。その後、「新居浜市のじまんを見つけよう」という活動目標のもと、「太鼓台」「郷土料理」など、一人一人興味のある課題を設定し、調べ学習に取り組んだ。教師が思いつかない視点で課題を見つけてくる児童もおり、まとめ方も端的でわかりやすいものができた。発表を聞き合うことでさらに新居浜市のよさを発見することができたように感じた。



(下水道処理場で話を聞く様子)

【4年 「人にやさしい町づくり」】

(活動の実際) 水を守ろう

社会科の学習と関連させながら、自分たちが使った水はどこで、どのようになっていくのかという課題をもち、下水処理場を見学した。実際の汚れ、臭いを肌で感じたことで、その水が浄化されていく過程により関心が高まり、熱心に話を聞くことができた。見学後、自分たちの生活と水のかかわりを見直し、自分にできることをみんなで話し合った。考えたことを生活の中で生かしていくとする姿が見られるようになった。



(調べたことをまとめている様子)

【5年 「環境にやさしい町づくり」】

(活動の実際) GO! 5! 環境調査隊

身の回りの環境問題に目を向け、関心のある課題をインターネットや本を活用し、調べる活動に取り組んだ。調べたことから分かったこと、自分の生活との関わりから気付いたことをまとめ、自分なりに工夫した方法で発表会を行った。その後、環境や資源を守るために自分たちが取り組めることを考え、ポスターなどを作成し、伝え合うことができた。

【6年 「未来に生きる高津っ子」】

(活動の実際) ヒロシマから学ぼう

「つるにのって」の視聴やゲストティーチャーの話、学校司書によるブックトークは、戦争の現実に目を向けるきっかけとなり、平和について考えていくことへとつながっていった。原爆の被害、人々の生活などの課題について必要な情報を収集し、調べた。修学旅行先の広島でも語り部さんの貴重な実体験を聞くを通して、日常の平和のありがたさに気付いたり、自分なりの考えをまとめたりすることができた。その後、未来が平和であるために自分にできることを考え、提案した。



(語り部さんの話を聞く様子)

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）